

米国カリフォルニア州 2024年のブドウ出荷量は増加

[The Packer 2024年9月27日](#)

出荷価格が下がったことで拍車がかかり、8月下旬の米国のブドウ出荷量は前年同期比で大幅に増加した。

カリフォルニア州フレズノ市のベリー青果会社のジャスティン・ベドウェル社長は、カリフォルニア州の貯蔵ブドウの供給は1年前よりも進んでおり、これは昨年8月上旬の雨によって2023年産の収穫の大部分が失われたことが主な原因であると述べた。(以下「」は同社長の話)

「一方、今シーズンの荷動きはかなり良好であり、秋が深まるにつれて供給がさらに逼迫すると予想している。序盤の多少の暑さ以外には、天候に関してはかなり良いシーズンとなっており、その結果、品質の高いブドウが育った。シーズン初めの暑さが一部の品種の収穫を促進したようで、昨年よりも少し早く収穫が終わると予想している。」

同社は輸入品を扱っていないが、同社長は、南米産の輸入品が11月中旬までに入荷する可能性があり、それはカリフォルニア州の一部の生産者の遅い出荷と重なると述べた。

同社長は、同社では通常11月上旬までブドウを販売していると述べた。「以前は出荷シーズンの延長を試みたが、輸入がますます早くなっているので、収穫、梱包、出荷をタイムリーに行うのが最善の策のようだ。」

荷動きが増加 米国農務省の出荷統計によると、8月25日から31日の週の米国のブドウ総出荷量は19ポンド箱で452万箱(8,587万ポンド)で、前年同期比で15%増加した。農務省によると、カリフォルニア州は生鮮ブドウの総供給量の99%以上を出荷し、カナダ、メキシコ、イタリア、韓国からの輸入は非常に少量であった。(1ポンド=約0.4536kg、1億ポンド=約4万5,359トン)

カリフォルニア州中部の生食用ブドウの今シーズン8月末までの累計国内出荷量は、前年同期比20%増の2,540万コンテナ(4億8,260万ポンド)であった。同省によると、2023年シーズンのカリフォルニア州産ブドウのトラックによる国内出荷数量は6,150万コンテナ(11億7千万ポンド)であった。

2024年には、カリフォルニア州中部のブドウの輸出量も大幅に増加した。農務省は、カリフォルニア州中部の輸出向けブドウのトラックによる出荷数量が今シーズンこれまでの累計で前年比42%増加し、航空貨物による輸出は72%増加、船舶による輸出は4%増加したと報告している。全体として、カリフォルニア州中部の今シーズン現在までの輸出向けブドウ出荷量は264万コンテナ(5,020万ポンド)で、前年同期の225万コンテナ(4,290万ポンド)に比べて17%増加した。

価格と販促活動 出荷量が増えたため、カリフォルニア州産ブドウの8月下旬の出荷価格は前年同期の水準を下回った。9月上旬のカーン郡の19ポンド箱の種無し白ブドウの価格は、需要が供給を上回っていた前年同期の30.95~38.95ドル/箱に対し、22.95~26.95ドル/箱と報告された。同じく種無し赤ブドウは、24.95~28.95ドル/箱で、前年同期の30.95~38.95ドル/箱から下落した。(販促については省略)

ブドウ業界の変化 LinkedIn(ビジネス向けSNS)の青果物業界ディスカッショングループの最近の調査で、「過去50年間で米国の生鮮ブドウ市場はどのような点で最も変化したか」と質問した。調査参加者は次の4つの選択肢を与えられ、80票が投じられた(パーセンテージは投票数の割合): ブドウの新品種/ブドウ品種の増加(35%)、周年供給/輸入(50%)、有機ブドウの増加(5%)、パッケージの進歩(10%)

ベドウェル氏は、ブドウの取引は過去20年間で大きく変化したと言う。「生産者の立場から見ると、投入コストが上昇を続けており、増加したコストのバランスをとることが引き続き課題となるだろう。消費者の立場からは、おそらく品種が最大の変化である。過去20年ほどの間に、いくつかの優れた品種が生まれた。私は最終的な品種は個々の栽培者によって決定されるものだと考えているが、新しく、味の良い品種の爆発的な増加により、カリフォルニア州産のブドウに関しては消費者にさらに多くの選択肢が与えられたことは間違いない。」

執筆者: トム・カースト

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)